

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年2月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年2月1日～2月28日）

- 調査期間：平成29年3月1日～3月21日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業22企業、製造業22企業、卸売業13企業、小売業34企業
飲食業17企業、サービス43企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計151企業>
- 調査項目：2月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

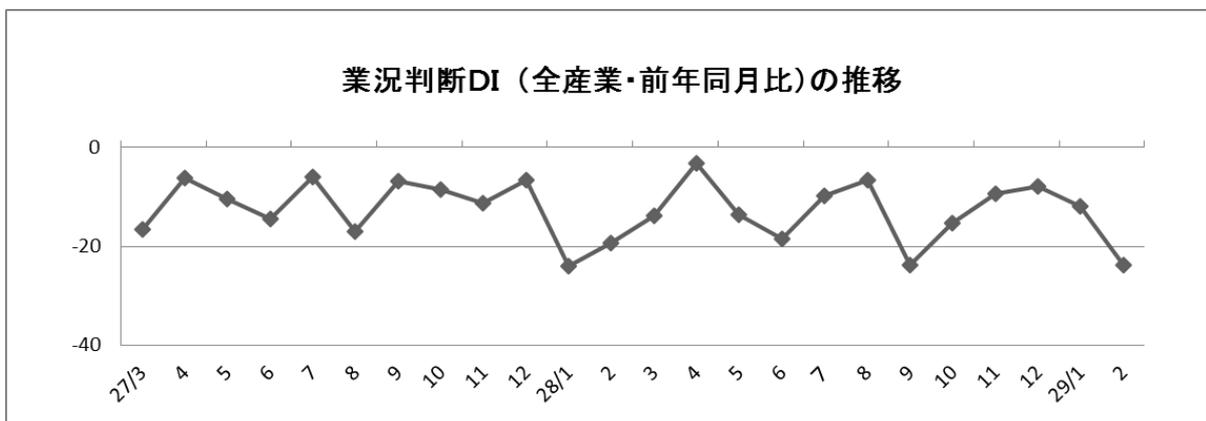
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲11.9）よりマイナス幅が12.0ポイント拡大し、▲23.9となった。業種別では、卸売業、飲食業、建設業はマイナス幅が縮小した。小売業はプラスからマイナスに転じ、製造業は0からマイナスに転じた。サービス業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲21.9）よりマイナス幅が4.0ポイント拡大し、▲25.9となった。業種別では、製造業はマイナスから0になり、サービス業、飲食業はマイナス幅が縮小した。小売業はプラスからマイナスに転じ、卸売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	7.9 (14.6)	60.3 (58.9)	31.8 (26.5)	↘ ▲23.9 (▲11.9)	6.6 (8.6)	60.9 (60.9)	32.5 (30.5)	↘ ▲25.9 (▲21.9)
建設業	9.1 (5.0)	59.1 (65.0)	31.8 (30.0)	↗ ▲22.7 (▲25.0)	4.5 (5.0)	63.7 (65.0)	31.8 (30.0)	↘ ▲27.3 (▲25.0)
製造業	9.1 (22.7)	72.7 (54.6)	18.2 (22.7)	↘ ▲9.1 (0.0)	13.6 (9.1)	72.8 (59.1)	13.6 (31.8)	↗ 0.0 (▲22.7)
卸売業	15.4 (6.3)	46.1 (49.9)	38.5 (43.8)	↗ ▲23.1 (▲37.5)	7.7 (6.3)	46.1 (62.4)	46.2 (31.3)	↘ ▲38.5 (▲25.0)
小売業	5.9 (27.3)	50.0 (60.6)	44.1 (12.1)	↘ ▲38.2 (15.2)	5.9 (24.2)	47.0 (54.6)	47.1 (21.2)	↘ ▲41.2 (3.0)
飲食業	0.0 (6.7)	64.7 (46.6)	35.3 (46.7)	↗ ▲35.3 (▲40.0)	0.0 (6.7)	47.1 (33.3)	52.9 (60.0)	↗ ▲52.9 (▲53.3)
サービス業	9.3 (11.1)	65.1 (64.5)	25.6 (24.4)	↘ ▲16.3 (▲13.3)	7.0 (0.0)	74.4 (73.3)	18.6 (26.7)	↗ ▲11.6 (▲26.7)

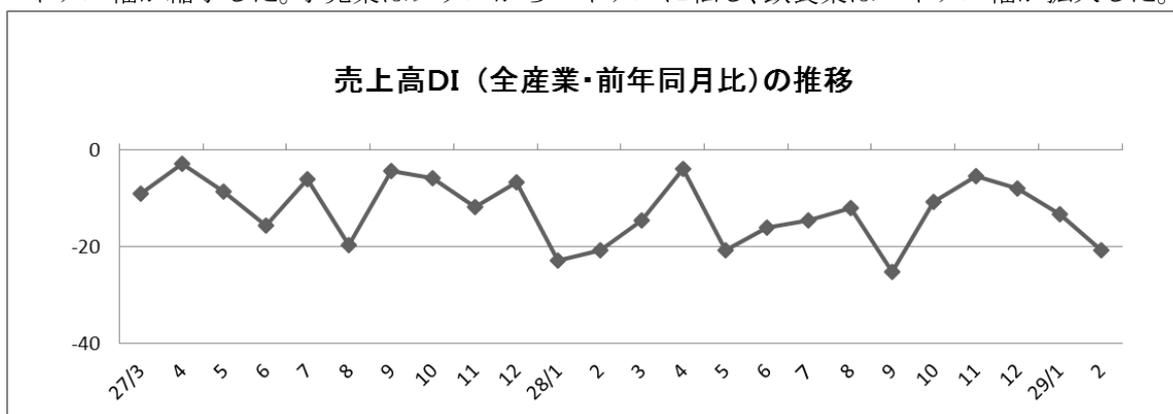
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲13.2）よりマイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲20.6となった。業種別に見ると、製造業は0からプラスに転じ、卸売業、建設業、サービス業はマイナス幅が縮小した。小売業はプラスからマイナスに転じ、飲食業はマイナス幅が拡大した。

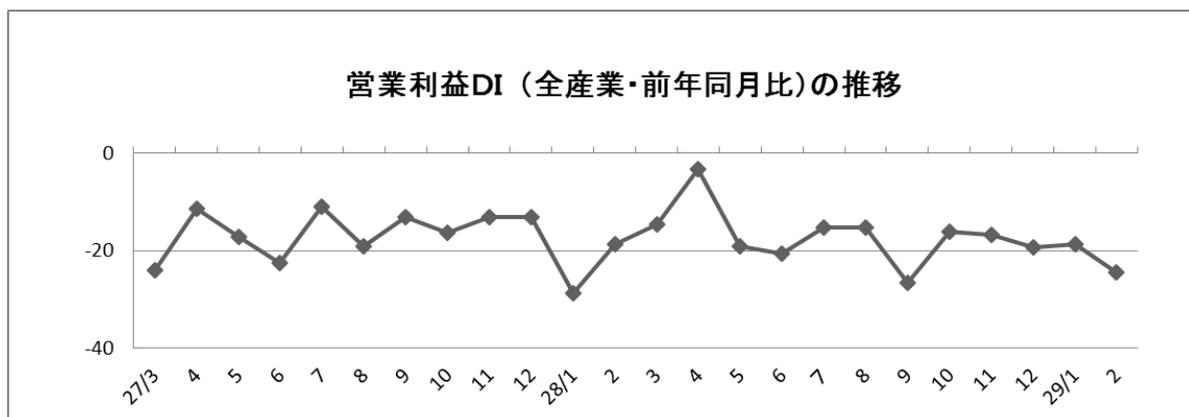


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
全 体	▲ 20.7	▲ 14.5	▲ 3.9	▲ 20.6	▲ 16.0	▲ 14.6	▲ 12.0	▲ 25.1	▲ 10.7	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 13.2	▲ 20.6
建 設 業	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7
製 造 業	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5
卸 売 業	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4
小 売 業	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2
飲 食 業	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3
サービス業	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6

3. 営業利益DI（前年同月比）

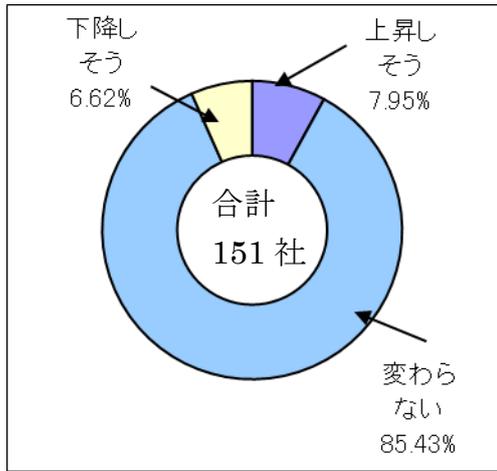
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲18.6）よりマイナス幅が5.9ポイント拡大し、▲24.5となった。卸売業、飲食業、サービス業はマイナス幅が縮小した。製造業は0からマイナスに転じ、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

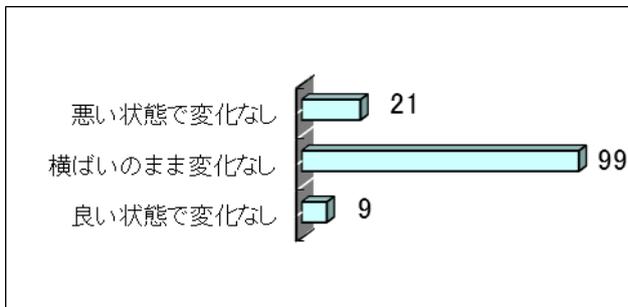
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
全 体	▲ 18.7	▲ 14.5	▲ 3.2	▲ 19.2	▲ 20.7	▲ 15.2	▲ 15.3	▲ 26.5	▲ 16.0	▲ 16.7	▲ 19.3	▲ 18.6	▲ 24.5
建 設 業	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3
製 造 業	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1
卸 売 業	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8
小 売 業	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3
飲 食 業	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2
サービス業	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成29年2月～平成29年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.66ポイント減少し7.95%、「下降しそう」が先月と変わらず6.62%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.6)、製造業(9.1)、卸売業(0.0)、小売業(2.9)、飲食業(▲11.7)、サービス業(0.0)であった。

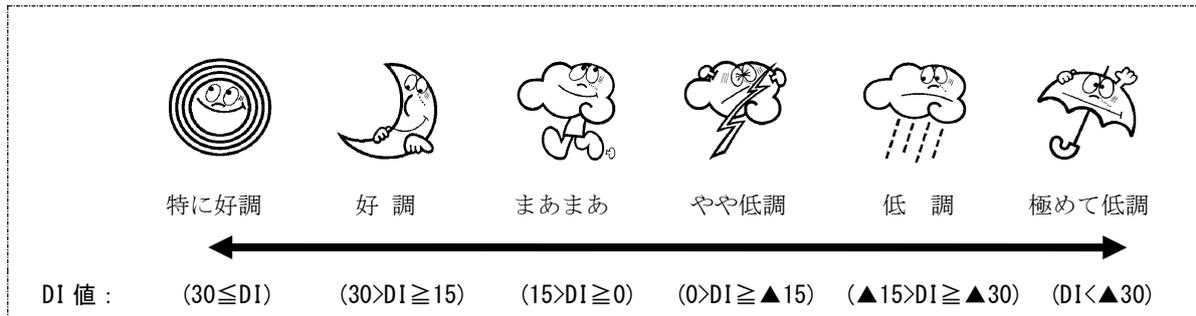
➡「上昇しそう」では、「現状が悪すぎるので、今後は回復していくと思われるため」、「全日本花いっぱい松本大会の開催などのイベントがあるため」(建設業)、「今後事業が好転していきそうなため」、「例年3月、4月は受注が増加するため」(製造業)、「春は需要が伸びるため」(卸売業)、「イベント関係で集客が見込めるため」(小売業)、「春休み、GW、修学旅行などの行事があるため」(飲食業)、「観光、婚礼などが動き出し、企業宴席も増加するため」、「一年間で一番車検台数が多い時期で、売上の増加が見込めるため」、「春になり露天風呂や花見、山岳観光の観光客が増加しそうなため」、「決算月のため顧客が多く、新年度の引き合いもあるため」、「従業員のモチベーションが高いため」(サービス業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では、「公共工事を始め、民間の依頼も減少しているため」(建設業)、「夜の街が全体的に静かに感じられるため」(飲食業)、「事業主が体調を崩し、仕事ができないため」、「求職者支援訓練募集定員の減少及び、応募者数低迷のため」、「4月から保険料が上がるため」、「年度末で仕事の受注がないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
売上高	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7
受注量	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2
受注単価	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1
営業利益	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3
見 通 し	8.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5	4.3	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6

<経営者の目・見方・e t c>

鉄工

- ・新年度の求人をしているが、まったく不調でハローワーク等からの応募も少ない。今後の労働人口減少に備えて人材募集と育成が必要と考えているが、なかなか採用に繋がらない。
- ・2月、3月は毎年静かであるが、地域案件は新年度4月、5月に動き出すので期待したい。
- ・首都圏の案件はあるが、県内は仕事が少ない。

電気工事

- ・業界全体にこれといった動きはなく、静かな年度末となりそう。新年度に期待したい。

管工事

- ・例年冬季の受注は少ないが、今年も見通しは良くない。公共工事の予算も少なく厳しい状況である。

建築工事

- ・今年になって受注が少なく、昨年と比べると半分以下である。

総合建設

- ・11月補正による工事発注とゼロ県債による工事発注で少しだけ賑わった。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
売上高	▲ 19.1	▲ 9.5	▲ 4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5
受注量	▲ 19.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 39.1	▲ 26.1	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5
受注単価	▲ 14.3	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0
営業利益	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1
見通し	14.3	▲ 33.3	8.7	4.7	▲ 5.0	10.0	▲ 10.0	▲ 8.7	4.4	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1

<経営者の目・見方・e t c>

精密機械

・業状は悪くないが、案件が集中して対処できないことが多かった。全体としては堅調な状況である。

印刷

・出版、印刷(書籍)は、1月～3月は繁忙期にあたるため、忙しい状況にはあるが、受注の状況は厳しく、今後の見込み等は難しい。

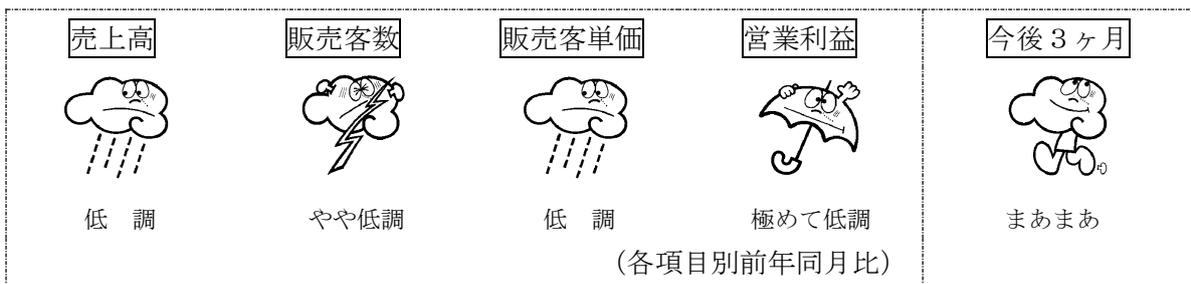
金属塗装

・原油、LPGの価格が上昇し、この冬の寒さと相まって、光熱費が経費を圧迫した。また米国の状況が不安である。

紙器

・例年1月、2月は動きが良くない。3月頃から受注が増えてくると思われる。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
売上高	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4
販売客数	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7
販売客単価	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4
営業利益	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8
見通し	0.0	0.0	0.0	8.3	▲ 7.1	0.0	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0

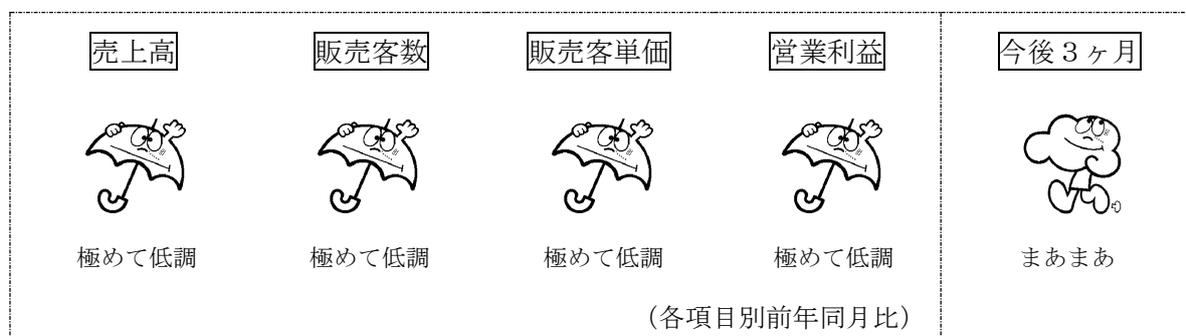
<経営者の目・見方・e t c>

土産品

・県内、松本地区は大きな変動はなく推移しているが、期待できるものがなく、企業として新しい取り組みをする必要性を感じている。

青果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年高単価の果菜、野菜は数量増、単価安の反面、土物野菜が数量減、単価高で推移している。果実は出荷量、大幅減のりんごの高単価以外みかん、いちご等が数量増、単価安で推移している。野菜、果物全体をみても数量減の割には、消費が活発とは言えず単価はほぼ前年並みだった。
機械工具	<ul style="list-style-type: none"> ・相変わらずの先行き不透明な景気で、変化する時代にどのように対応するべきか考えている。 ・悪い材料はないが、業界特有の景気が都会より遅れて立ち上がってくる傾向にあり、客先の動向によれば、5月～6月頃から動きが出てくるのではないかと。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・地元では、大手企業との取引以外大きな案件はないが、関東からの仕事もあり、加工屋は先々まで予定が入っている状況である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
売上高	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2
販売客数	▲ 37.5	▲ 24.2	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2
販売客単価	▲ 37.5	▲ 9.1	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3
営業利益	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3
見通し	0.0	6.1	2.9	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9

<経営者の目・見方・etc>

味噌・しょうゆ	<ul style="list-style-type: none"> ・原料である米の価格が値上がりしたが、商品自体は値上げできない状態である。
おやき	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の飲食店を含めて2月に入ってから、一層と悪くなったとの話が聞かれる。消費意欲が更に低下しているようだ。来客数は減少しており外への販路拡大に向けて態勢をつくり、売上を向上させていきたい。
菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・降雪がなく、観光客に期待していたが、人出はさっぱりだった。観光客が多くなる3月中旬に期待している。
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に悪い月だった。1月が好調だった分、2月の落ち込みが大きかった。早く暖かくなってほしい。
観光物産	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の食事予約が少ない。バスの動きは徐々に増えてきている。
陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> ・前年より営業日数が少なかったことを差し引いても、売上、客数ともに不振だった。株価も安定し、中国経済も持ち直して輸出関係は好調と聞く。天候も安定していただけないと対策も打ちにくい。

陶磁器

・松本駅前の大型店の撤退が報道された。時間の問題だと思っていたが、いよいよ現実に動き出した。秋に向けて様々な動きが一気に加速するとの覚悟でいる。

ショッピングセンター

・2月は営業日数が少なかったこともあり厳しい月となった。衣料品の動向が鈍く、以前のような先物買いは減り、まさに今必要なものを買うスタイルが主流になりつつある。

印章

・印鑑不要で口座が開設できる金融機関が話題になっているが、この業界にとって非常に厳しいものである。
・厳しい寒さが続き、人出が極端に悪かった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
売上高	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3
販売客数	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3
販売客単価	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3
営業利益	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2
見通し	15.4	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0	7.2	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7

<経営者の目・見方・etc>

寿司

・例年通り2月は日数も少なく、月ベースで見ると最も厳しい月である。今後の歓送迎会シーズンに向けて右肩上がりになることを期待しているが、売上以上に気になるのが、今後の人材不足と仕入単価の上昇。特に一般的に予測されている人手不足に関しては、先手を打つ意味でも長期的な視点で根本的な見直しに取り組む必要があると感じる。

そば

・毎年2月は早く桜が咲くのを待ちわびる静かな月。

ラーメン

・松本駅前大型店の跡地に何が入るのか気になっている。

郷土料理

・良くも悪くもない、例年通りの我慢の月であった。

仕出し料理

・従業員の介護休暇、急な入院など、人手不足で時間外労働が多い月だった。社会全体の高齢化に伴い、人手不足は深刻な問題である。

料理

・2月は所得税の申告、入試と重なり例年同様に人の動きが無かった。旬の季節のフグを食するお客様は多く見られた。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
やや低調	やや低調	やや低調	やや低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
売上高	▲4.7	▲11.4	0.0	▲7.0	▲13.3	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6
販売客数	▲2.3	▲6.8	▲2.3	▲11.7	▲15.5	▲8.7	▲4.5	▲22.7	0.0	4.6	▲11.1	▲17.7	▲14.0
販売客単価	0.0	▲2.2	4.5	9.3	▲4.4	▲4.4	4.5	0.0	▲2.5	6.8	▲2.2	▲4.4	▲7.0
営業利益	▲4.6	▲13.7	▲6.7	▲6.9	▲17.8	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0
見通し	0.0	▲2.3	6.7	2.3	2.2	0.0	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備	<ul style="list-style-type: none"> 前年並みの積雪があると思っていたが、雪もなく事故車の入庫車数も思うほどではなかった。今後は車検台数が増えていくのか心配である。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> 例年2月は閑散期だが、今年は売上が良かった。
理容	<ul style="list-style-type: none"> 例年に比べ、お客様の消費率が低いように感じた。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 客数が少なく、売上が減少した上に、燃料価格が前月に続いて大幅な値上げとなった。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> 年度末に向けて忙しさはある。来期に向け良い状態につなげていきたい。
専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 堅調な雇用情勢に反映して、職業訓練受講者数は低迷している。一方で企業からの求人需要は旺盛で、特にIT技術者については、未経験者も可とする求人が寄せられている。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月、12月、平成29年1月、2月と連続で前年同月比がマイナスに転じている。このような状況は、6年前の東日本大震災に見舞われた2011年3月以来で、今までと変わった何かが起こり始めたように感じる。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> 顧客のサイトリニューアルや、既存のシステムの刷新などの動きはあるが、多様化する実装技術に対応する人材が不足している。これらについては提案者側の問題も多いが、経営環境の変化による自社業務を把握しきれないユーザーも多い。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> 2月はインバウンドの宿泊客の動きが低下するため、前年に比べてあまり伸びはない。宴会は予約段階では好調であったが、2月に入ってから伸びがなく、動きとしてはあまり好調ではなかった。 平日の宿泊客の動きが鈍かった。